

劍 豪 探 訪 記 ⑫



今井常固 (1850-1919) 直心影流

維新前後の越後新発田溝口藩は 剣術を以て天下に鳴った藩であった。その背景には、竹刀と防具の開発と共に竹刀による試合稽古が全国的に盛行し、従来の剣術の修行法―木刀中心の形稽古に飽き足らなくなったこと。さらに、他流試合が盛んになり、来藩する剣客に備える必要が生じたことがある。藩は時勢を等閑せず、当時、江戸随一と評される男谷精一郎信友(後に幕府の剣術師範・奉行、剣聖と称される)門下に江戸詰めの有能な藩士を送り込んだ。やがて、男谷門下の高弟と評される剣客の輩出となり、新発田は冒頭の名声を博すこととなった。

葉周作を招聘(後に師範)、北辰一刀流を藩の正式の流派と定め、藩士の剣術修行を鼓舞した。甲斐あつて水戸藩は剣術を以て天下一と言われた。そこで男谷道場の高弟を自認する新発田の剣客たちは黙視できず水戸藩に試合を申し出た。結果は新発田が勝利、凱旋。天下屈指の誉を得た。以来、水戸と新発田が剣術修行の二大関門と言われた。

ところで、越後新発田には天下に剣豪と知られた柿本清吉―大正2年(1913)、制定された10月、全国の剣道高段者を集めた講習会で、大日本帝国剣道形の主査根岸信五郎(越後旧長岡藩士)は「越後新発田旧溝口藩の剣士柿本清吉先生は、剣聖男谷下総守信友に師事され、斯道の蘊奥を究めた方であつた」と紹介し、剣技については恰好の実例として清吉の剣術に言及している―など数ある剣豪がいたが、剣聖の誉高いのは今井常固である。

常固の人と剣。若くして堀源太右衛門(男谷信友門下)に直心影流を学ぶ。師は常固の並々ならぬ手筋を認め前途を嘱望した。続いて、藩命により男谷信友門下で修行。免許皆伝なり、帰藩後、藩の剣術師範に就任した窪田鎌三郎に師事した。あまりに出色の弟子のため出藍の誉と言われた。大政

奉還後の戊辰の役には弱冠20歳で大砲隊の小隊長に抜擢され指揮を執った。その後は師の勧めにより男谷信友の後継者榊原健吉に師事(客分扱)。常固の無双の実力はすぐに評判を呼び、下谷車坂の榊原道場「百鍊館」を賑わしたという。また撃剣興行の剣士を務め師榊原健吉に尽くした。帰郷しては廃藩後の剣術道場「発誠館」副館長として道場を仕切った。

新発田には常固を標的に以前に増して剣術修行者が押し掛けたが、何れも「笠間峠は越えられない」と天を仰いで嘆息したという。ピークは明治19、20年、内藤高治(水戸藩士、北辰一刀流剣豪。後武道専門学校初代教授、今日の剣道の端緒を築く)も明治19年7月3日来訪。常固始め百余名の剣士と連日稽古し80日の長逗留となった。その後、維新の元勳・頭官(有栖川宮殿下・王政復古総裁・東征大総督・陸軍大将。板垣退助伯等)が来

奉還後の戊辰の役には弱冠20歳で大砲隊の小隊長に抜擢され指揮を執った。その後は師の勧めにより男谷信友の後継者榊原健吉に師事(客分扱)。常固の無双の実力はすぐに評判を呼び、下谷車坂の榊原道場「百鍊館」を賑わしたという。また撃剣興行の剣士を務め師榊原健吉に尽くした。帰郷しては廃藩後の剣術道場「発誠館」副館長として道場を仕切った。



學習院長 二戸兵衛陸軍大将の篆文題字からなる今井常固顕彰墓碑

県の際は「発誠館」によるご高覧撃剣会が催され、常固の法定之形の演武と立合いを異口同音に「真の剣道ここにあり」と嘆賞された。なお師の剣道理念は門下の高弟たちにより旧制新発田中学校(現新発田高校)に引き継がれ、4名の範士九段(齋藤正利、長谷川 寿、中野八十二、佐藤 毅)始め、東大赤門剣友会の名物渡辺三兄弟の輩出を見るにいたつた。剣道教育の真の面目と言うべきか。(新潟県剣道連盟会長 齋藤 榮)

アクセス
・今井常固顕彰墓碑
新潟県新発田市中心町1-1-11
廣川山真称寺内
JR羽越本線・新発田駅西口から徒歩8分。

参考文献
(書名・筆者・出版社・出版年)
『維新前後の新発田剣道史』(山宮三二郎・新潟日報事業社・1970)
『幼き日の新発田』(松下芳男・新潟日報事業社・1984)
『城下町新発田の剣道史上・下』(佐藤泰彦・2007・刊行発起人代表齋藤 榮)
『新潟県立新発田中学校剣道部史・五人の範士とその中学時代』(松川 顕・自家本・1999)

通巻第414号

平成3年4月2日第3種郵便物認可
平成28年2月1日発行(毎月1回1日発行)

全日本剣道連盟



第33回剣道講師要員(試合・審判)研修会 日本武道館研修センター 平成27年12月19日～20日

〔主な記事〕

剣筆 壁を破る(本岡俊郎).....	2頁
都道府県別新登録者(初段取得者)数一覧表.....	3頁
剣道・居合道・杖道「教士」称号筆記試験問題の掲載および解説(長谷川弘一).....	4頁
剣道七・六段(愛知・東京)審査会分析データ.....	6頁
第14回剣道文化講演会抄録『わが人生と剣道と』(渡辺正行).....	10頁
剣豪探訪記⑫(齋藤 榮).....	22頁
第六期第2回剣道選抜特別訓練講習会.....	23頁
第33回剣道講師要員(試合・審判)研修会.....	23頁
社会体育指導員(第44回中級・第55回中級更新)講習会.....	24頁
全剣連後援剣道講習会・全剣連講師派遣事業・全国剣道指導者研修会.....	25頁
剣連だより 初めての試み女子三道錬成大会の開催(梶原治代).....	28頁
随筆 武道家がこだわったトイレ(河野通晴).....	29頁
海外渡航中の審査について留意すべきこと(佐藤征夫・梯 正治).....	30頁
アンチ・ドーピング委員会コラム⑭(門野由紀子).....	30頁
国際関係コラム・156回.....	31頁
日体協指導者育成50周年記念表彰感謝状を受彰.....	32頁
平成28年鏡開き・武道始め.....	32頁